



神宮前だより

学ぶはまねるから

校長 手代木 英明

低学年スポーツデーが、秋晴れの十月二十四日(土)に行われました。四十分トル走、「紅蓮花たまいれ2020」(ダンシング玉入れ)、「バースデーケーキをどけよう」(九十周年お神輿運び)、リレーをして、ダンス「前向きスクリーム」、「パプリカ」を踊りました。

開閉会式のはじめの言葉・終わりの言葉、児童代表の言葉、応援、アナウンスまで、一・二年生の方でやり遂げたことが素晴らしかったです。

特にダンスと歌は、とても上手でした。子供たちは、先生や先輩の踊りを見たり歌を聞いたりして、できるようになっていきます。「人の動きを見て、まねる。」



上:開会式の様子
1年生児童代表の言葉
中:係活動
2年生のアナウンス
下:閉会式の様子
2年生児童代表の言葉



前向きスクリームの最後の決めポーズ

高学年のお手本がありました。高学年の皆さんが、頑張ったことが学校全体に広がっています。高学年の皆さん、ありがとう!

次は、十一月十四日(土)中学年です。

ということは、学習の基本です。まねる力は、小さな子供の方があります。良いお手本があれば、子供たちは、どんどん上手になっていきます。今回は、

物を長く使うということ

私が、これまでに一番長く使った物は大学入学記念に父から贈られた腕時計で、三十二年間です。今は、修理の甲斐もなく止まってしまっていますが、皆さんが長く使った物は、何ですか?

そんなことを四年生と行った社会科見学で考えました。中央防波堤埋立地はあと五十年でいっぱいになってしまおうです。その後の埋め立て予定地は、東京湾にはありません。係の方の説明に「この三十年間で、東京都ごみは約半分になりました。次は、皆さんがもう半分にして、この埋立地を百年間もたせましょう。」とありました。

物があふれている時代、物を大切に使い続けることが見直されています。子供たちのランドセルや校帽、筆箱などは、丁寧に使えば六年間きれいに使えます。家庭では、リサイクルやリユースを進めて、子供たちが安心して暮らせる未来をつくっていきましょう。



この先を埋めたら終わりです。

十一月の生活指導

「力を合わせて活動しよう」

学校生活では、学級でまたは学年で、時にはその枠を超えて、みんなで力を合わせて活動することが多くあります。

先月から、二学年ごとのスポーツデーが行われていますが、教室内・廊下の掲示からは、クラスや赤組、白組ごとに団結して行事に向かおうとする様子が伝わってきますし、やり終えた達成感も作文や感想の言葉から感じ取ることができます。

創立九十周年児童集会に向けた取り組みでは、委員会ごとに学校の歴史やよさを伝えようと、高学年を中心に発表準備にとりかかっています。一年生から六年生までが製作にかかわる、大きな誕生日ケーキも、現在作成中です。学校全体で一つのものを作りあげる素敵なイベントになりそうです。

十一月は「第二回ふれあい月間」です。アンケートを実施するほか、「思いやり」、「親切」をテーマとした道徳授業を行うなどして、いじめや不登校を未然に防ぐための取り組みも行っています。道徳授業地区公開講座後には、講師のお話について各家庭でも話題に取り上げてみてください。

(生活指導部)